

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	風致地区内建築許可事務事業			事業コード	0773
担当課等	所属名	都市整備部 公園みどり課	担当係名		
	課長名	都市整備部 公園みどり課	担当者名	高橋 慶太	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード 4
	基本事業	私的空間の緑化推進	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 6目 風致地区内建築許可事務 (004-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 55年度～)					
事務事業の概要	岩手県条例「風致地区内の建築等の規制に関する条例」に基づき、風致地区内における建築物の建築、宅地の造成、木竹の伐採などの行為の申請を受け、審査を行い、適正な行為については許可を行う事業。					
根拠法令等	風致地区内の建築等の規制に関する条例(岩手県条例第19号)					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
岩手県からの事務委任により、昭和55年4月から事務を行っている。なお、県条例の改正により、平成16年5月からは盛岡市の事務となっている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
風致地区指定区域内の居住者から、区域を見直し、規制を解除または緩和してほしい旨の要望を受けている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
市内の風致地区指定区域は、昭和27年の都市計画決定以来見直しが行われておらず、当時の指定目的に照らして地形や土地利用が変化している箇所があることから、区域見直しの検討が必要になっている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	風致地区内において建築物の建築、宅地の造成、木竹の伐採などの行為をしようとする者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 申請件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・風致地区内行為許可申請の受付 ・申請書の審査及び現地の確認 ・許可書の交付 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 許可件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	都市における良好な風致の維持保全を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 許可率((許可件数/申請件数)×100) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	私的空間に緑が生み出されている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	私的緑化推進制度の利用件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	申請件数	件	32	29	30	27	30	30	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	許可件数	件	32	29	30	27	30	30	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	許可率((許可件数/申請件数)×100)	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円		0	0	0	0	0	*****
財源 内訳	④国	千円				0	0	0	*****
	⑤県	千円				0	0	0	*****
	⑥地方債	千円				0	0	0	*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円		0	0	0	0	0	*****
	延べ業務時間数	時間	170	150	160	140	160	160	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	680	600	640	560	640	640	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	680	600	640	560	640	640	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 風致地区内行為の技術基準(緑化のための壁面後退, 緑被率)を通じて, 宅地内等の私的空間に緑が生み出されている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか? 税金を使って達成する目的ですか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか? 広げられませんか? また絞らなくてよいですか?	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして, 成果向上できませんか?	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか?	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 岩手県条例に基づく法定事務であり, 近年は許可率が100%で推移しており成果の向上余地はないが, 今後も許可申請を受けたものについて適切な指導を維持していく必要がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合, 施策の成果に及ぼす影響はありますか?	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 岩手県条例に基づく法定事務であり, 廃止・休止はできない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国, 県, 市の内部, 民間)はありますか?	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 建築確認審査事務事業, 宅地造成工事許可事務事業, 開発許可事務事業 ※類似事業がある場合, その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか? 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 建築行為や宅地造成行為に伴う申請が大半であり, 審査内容が重複していることから, 同一部署での審査が効率的と考えられる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか?	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費がゼロであり, 削減できない
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか?	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	理由: 類似事業と審査部署を統合すれば, 人件費の削減が可能である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか?	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 岩手県条例に基づく法定業務であり, 市が行うべき業務である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか?	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 岩手県条例に基づく法定業務であり, 市が行うべき業務である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 建築等行為に係る他の手続きとの事務の一元化や規制誘導地区の拡大には課題が多く、実現化には相応の時間を要する状況にあることから、関係部署と協議をしながら、当業務の課題解決に向けた方向性を探ることとしたい。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 建築行為に係る他の手続きが分散されているため、手続きに時間がかかることから、建築確認審査事務の担当課や宅地造成工事許可事務及び開発許可事務担当課と連携して事務を行うことにより克服する。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>都市の良好な風致を維持するために必要な事務であり、今後も権利者等の理解を得ながら継続されることが必要である。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												

今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携				
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止					
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>平成22年度は、かねてからの課題であった区域の見直しに着手した。今後も、居住者等の意向を把握するとともに、関係機関との協議を進め、早期に見直しができるよう進める必要がある。</p>						